

山野で採れた野生の「キノコ」などは、食べる前に放射能測定をしましょう!

■問い合わせ/環境課 放射線モニタリングセンター TEL 525-3210

令和4年度中に市民の皆さんが持ち込んだ食品などに含まれる放射能を測定した総数は、2,194件でした。
このうち、放射性セシウムの摂取基準値(100ベクレル/キログラム)を超えて検出された件数は127件で、全体の5.8%を占めています。中でも、秋に旬を迎える「キノコ類」は47.9%と、他品目に比べても高くなる傾向があります。
山野で採れた野生の「キノコ」などを食べる際は、事前に放射能測定を行い、安全を確認することをおすすめします。
食品の放射能測定を希望する際は、各測定所へ直接お問い合わせください。

出荷販売を目的としない、市民の皆さんの持ち込みによる食品の放射能測定の結果(令和4年度)

測定品目	測定件数	検出件数	基準値超過数(うち市内産)	基準超過の割合(%)
飲料水	23	0	0 (-)	0.0
農作物等	2,035	303	121 (82)	5.9
山菜類	779	213	72 (59)	9.2
果物(カキ等)	410	4	0 (-)	0.0
根菜類	243	0	0 (-)	0.0
キノコ類	94	68	45 (19)	47.9
葉物野菜	78	0	0 (-)	0.0
木の実(クリ等)	42	12	3 (3)	7.1
その他(豆類等)	389	6	1 (1)	0.3
食品(加工品等)	129	18	6 (2)	4.7
乾物・干物(干柿等)	85	6	2 (1)	2.4
肉(キジ等)	15	8	1 (0)	6.7
魚(ヤマメ等)	2	1	0 (-)	0.0
その他(漬物等)	27	3	3 (1)	11.1
その他(笹の葉等)	7	0	0 (-)	0.0
総合計	2,194	321	127 (84)	5.8

- ※1 検出件数：本市では簡易測定装置を使用しているため、検出限界値が20ベクレル/kgとなり、この数値を下回る場合は、不検出となります。
※2 基準値超過数：一般食品の場合、放射性セシウムの基準値100ベクレル/kgを超過して放射能が検出された件数です。

品目ごとの測定結果

クリックでもページに移動できます



放射能測定のご案内(測定所の連絡先)

クリックでもページに移動できます



ホールボディカウンタによる内部被ばく検査の結果をお知らせします (令和5年3月31日現在)

■問い合わせ/保健所 保健総務課 TEL 525-7681

検査実施状況

年齢区分 ※1	検査対象者数(人) ※2	検査累計人数
10歳未満	19,448	9,807
10歳代	23,670	88,222
20歳代	25,499	39,539
30歳代	28,445	8,001
40歳以上	174,736	57,846
計	271,798	203,415
その他 ※3		2,912
ひらた中央病院		1,183
合計	271,798	207,510

検査結果

よたふ
預託実効線量(注1)は、受検者207,510人全員が1ミリシーベルト未満となっています。

(注1) 預託実効線量とは、計測された放射性物質の量から推定した、成人では50年間、子どもでは70歳までに体内から受ける内部被ばく線量のことです。

検査結果の概要

福島市健康管理検討委員会(注2)より、「健康に影響を与えるような数値ではない。」との見解をいただいています。

(注2) 福島市健康管理検討委員会とは、医師や専門家などで構成する委員会です。

- ※1 年齢区分の基準日は、令和4年3月31日現在
※2 検査対象者数は、令和4年3月31日の住民基本台帳人口
※3 避難区域内の市町村からの避難者などに市に住民登録がない方